

夢をかなえる「打ち出の小槌」

夢をかなえる 「打ち出の 小槌」

堀江貴文
Takafumi Horie

あなたが切り開く道は新しい道なのだから
あなたが変わっていくのだ。

**ゼロに
なることを
怖がるな！**

これが
ホリエモンの
「生き方指南書」だ！



青志社

定価： 本体 1200円 +税

発売日: 2018年4月2日

出版: 青志社

著者: 堀江 貴文

PDF

「心の打ち出の小槌」を持てば、あなたの人生は一変する！！

今なおブレずに進化し続ける堀江貴文の原点的哲学を記した、不動の自己啓発ビジネス書！！

第1章 夢をかなえる「打ち出の小槌」とは？

- ・信じた者は救われる
- ・目に見える価値を追うな 他

第2章 ゼロになることを怖がらず、挑戦しよう

- ・失敗しても忘れる鈍感力
- ・やりたいことをやる 他

第3章 夢を邪魔する常識の殻を破れ

- ・他人と同じことをやっても意味がない
- ・親の言うことは聞くな 他

第4章 適度な借金でさらなるショートカットを

- ・お金がないなら時間と体力を生かせ
- ・情報を得るとは、未来を知ること 他

読んでいただければわかると思うが、内容は正直言って、社会常識からかけ離れたものだ。

けれど私としては、現代を生きる、とくに若者にとってのベストな生き方を指南したつもりである。

しかし世の中には「羊飼い」と「羊」の両タイプがいるから、「羊」に何を言っても無駄だよと忠告してくれる人たちがいる。

たしかにそうかもしれない。

この本は「羊」タイプの人にとってみれば、おせっかいというか、はた迷惑な本なのかもしれない。

でも、私は、「羊飼い」タイプでありながら、無理やり「羊」としての生き方を強要されているような、

少数派かもしれないが、そういう若者たちにこの本を贈りたいのである。

(「おわりに」より)

『夢をかなえる「打ち出の小槌」』を書いてから、数年が経過した。

その間にある程度は分かっていたこととはいえ、辛い受刑生活を経験した。

しかし、そんな辛い経験を経ても私の根本的な部分の考え方は変わらない。

むしろ、グローバル化の大激動の時代に本書で書いた、心の中にある「打ち出の小槌」というコンセプトは

輝きを増しているのではないかと考えている。

(「あとがきのあとがき」より)

<https://rapidgator.net/file/0ee1ec5a8dd9aa4b87206afb93d4ea2a/NpEN8Th1h.pdf.rar.html>